

平成27年度 仙台大学大学院 授業概要

授業科目名	キャリアマネジメント特講 Carrier Management (L.)	担当教員	奥田寛司		
領域水準コード	R2	単位数	2	修方法	必修
授業の方法					
講義					
授業の概要					
スポーツ・健康関連分野に求められる高度な職能開発のための有効な理念・目的を明確化し、目的・目標設定の仕方、長期的および短期的な学修・生活設計の仕方、そのための実践的な理論や方法について教授研究する。					
授業の一般目標					
スポーツ・健康関連分野を担う高度な職能開発のための有効な施策に関する理論や方法について理解する。そのうえで、各自のキャリア目標等を設定し、生涯にわたるキャリアデザインを設計することができる。					
授業の到達目標					
■ 認知的領域	自らに必要な社会人基礎力と自・他に目を向けたキャリアマネジメント方法について解説することができる。				
■ 情意的領域	キャリアにかかわる社会動向、公の施策、自らの人生設計に関心を向け、職能開発に取り組もうとする意欲を高める。				
■ 技能表現的領域	社会的自己実現に向けた目的・目標を設定することができる。				
授業計画(全体)					
キャリアにかかわる主要概念と現状を整理し、また各界で活躍している職業人を考察し、社会人基礎力についての理解を深めながら、今後の人生を設計し、それを規定のシートにまとめて提出する。さらに、社会的自己実現につながる職能開発に向けた理論と方法について、高等教育の最前線で用いられている教育手法を実際に体験することにより更なる理解を深める。それらの総括として、規定のシートに、目的を反映させた目標を設定し、その達成に向けた下位目標・取り組みをまとめて提出する。					
授業計画(詳細)					
回	授業テーマとその内容				
1	[テーマ] 導入(キャリアマネジメントに関する基礎理論) [内容] キャリアマネジメントに関する基礎理論について、興味・価値観、能力という観点から理解する。	9	[テーマ] 自己分析・適職発見② [内容] 自己分析・適職発見診断テストの結果を読み、自らのキャリアマネジメントに向けて考える。		
2	[テーマ] スポーツ健康関連分野で求められる能力とは [内容] スポーツ健康関連分野で働かれている人たちの仕事ぶりをケース事例として、その中で求められる能力を考察する。	10	[テーマ] 能力開発の振り返り [内容] 7で作成した行動計画の実施状況や自己の能力を振り返り、この間の能力変化を理解する。		
3	[テーマ] 能力の伸ばし方を考える① [内容] 2で把握したスポーツ健康関連分野で求められる能力(特に、社会人基礎力)の伸ばし方を理解するため、グループワークを行う。	11	[テーマ] 能力開発の再計画 [内容] 10の振り返りを踏まえ、7で作成した行動計画を修正し、再度目標設定・行動計画作成を行う。		
4	[テーマ] 能力の伸ばし方を考える② [内容] 2で把握したスポーツ健康関連分野で求められる能力(特に、社会人基礎力)の伸ばし方を理解するため、グループワークを行う。	12	[テーマ] 成果発表会① [内容] 11で作成した行動計画を踏まえ、11以来頑張ってきたことや自らの成長ぶりについて、プレゼンテーションを行う。		
5	[テーマ] 能力の伸ばし方を考える③ [内容] 3, 4で行ったグループワークの結果をまとめ、グループ毎にプレゼンテーションを行う。	13	[テーマ] 成果発表会② [内容] 11で作成した行動計画を踏まえ、11以来頑張ってきたことや自らの成長ぶりについて、プレゼンテーションを行う。		
6	[テーマ] 能力の育成方法を知る [内容] 他者の能力(社会人基礎力)を育成する方法(教育手法)を理解する。	14	[テーマ] 成果発表会③ [内容] 11で作成した行動計画を踏まえ、11以来頑張ってきたことや自らの成長ぶりについて、プレゼンテーションを行う。		
7	[テーマ] 能力の開発方法を知る [内容] 自己の能力(社会人基礎力)を開発する方法として、目標設定・行動計画作成を実践し、理解する。	15	[テーマ] 成果発表会④ [内容] 11で作成した行動計画を踏まえ、11以来頑張ってきたことや自らの成長ぶりについて、プレゼンテーションを行う。また、講師から全体講評の後、今後の自らのキャリアマネジメント計画を作成する。		
8	[テーマ] 自己分析・適職発見① [内容] 自らのキャリアマネジメントに向けて、自己分析・適職発見診断テストを受検する。				
授業外学習の指示等					
①集中講義形式であり、各日程終了後、日常生活における課題が出されるので、自己の成長に向けた活動を継続すること。					
成績評価方法(方針)					
個人課題(授業内及び授業外)、グループ課題、成果発表で70点、授業中の各種ワークへの参加態度で30点、合計100点満点。 ※各課題については、記述内容(質)と記述文字数(量)を評価。グループ課題については、発表内容と協働状況(質)を評価					
成績評価方法(詳細)					履修上の注意(受講に当たって学生に望むこと)
到達目標	認知的領域	情意的領域	技能表現的領域	評価割合 (%)	注意事項 ①4回以上の欠席者には、単位を与えない。 ②全ての課題を提出していない者には、単位を与えない。
定期試験(期末試験)					
小テスト・授業内レポート	◎	○	◎	50	
授業外のレポート	○	◎	○	20	
ポートフォリオ					
出席				欠格条件	
その他	○	◎	○	30	
関連科目	キャリアマネジメント演習				
教科書	自己分析・適職発見プログラム「R-CAP」	参考書	経済産業省「今日から始める 社会人基礎力の育成と評価」(角川学芸出版)		
連絡先	丸山:E棟2階				